

## 魅力発信・観光・商業地賑わいワーキング (魅力発信・観光部会)

担当取組項目：  
情報発信等 1～4,7～13, 20～23, 67  
教育 5,6

### 【第1回推進会議以降の主な取り組み】

○2部会（魅力発信・観光部会，商業地賑わい部会）に分けて検討を行い，同日開催として両部会の連携を図っている。

- ・「向島まちづくり情報発信推進事業」として，活動助成を申請している。
- ・タウン誌，ホームページ，ラジオ番組の編集・制作のための勉強会をスタートさせた。
- ・「魅力発信・観光・商業地賑わい」をはじめとするワーキングメンバーと協働して，向島内外へ情報を発信するためのネットワークづくりを進め，事業化への道筋を付ける。

主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	(神門(向島まちづくり情報発信グループ)，田中(中小企業家同友会))
	進捗管理	京都市都市総務課，アルパック
	地域住民	増田(1街区)，西田(3街区)，橋爪(3街区)，橋本(藤ノ木赤十字支部長)，宇野(向島東公園愛護協力会)，福井(二の丸北各種団体連絡協議会)，上代(向島学区自治会連合会)，奥田(向島学区)，神門(向島駅前まちづくり協議会)，西谷(向島南学区)，田嶋(向島藤ノ木学区社協他)他
	事業者	向島ニュータウン商店会，中嶋農園，山本牛乳店，千姫を偲ぶ会，中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校，京都市住宅供給公社，伏見区役所，向島図書館 他
今年度取り組むプログラム・取組	7	まちあるきマップ作成と歴史のまちあるき企画の実施
	8	向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施
	9	農を活かした来訪者の呼び込み
	21	ポータルサイト開設・運営
	22	タウン誌の発行
	23	地域放送局(団地ラジオ)の設立・運営
	97	24号線沿い賑わい施設整備の検討
	98	向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用
平成30年度 主な活動の報告	第1回 WG会議	○経過報告 ○今後の取組検討

### 第2回ワーキング 平成30年6月9日(土) 参加者：20名

#### ○経過報告

##### 向島まちづくり情報発信(神門さん)

- ・今年度は，助成金を活用して向島まちづくりの情報発信グループを立ち上げる。ホームページ，タウン誌，団地ラジオなどによる，総合的な情報発信の充実を図る。

#### ○今後の取組

- ・月1,2回，情報発信グループの会合をもって進めていく。
- ・まちづくり通信について，8月からタウン誌(まちづくりやまちの魅力情報を積極的に掲載)の形式とする。
- ・ラジオ放送局については，ニュータウンだけでなく，外から来てくれる人も対象とした番組をめざす。
- ・向島地域内の施設や住棟等の掲示板を利用させていただき，月1回程度「まちづくり瓦版」を作成，掲示する取組を進め，定期的・継続的にまちづくり情報を発信していく(掲示先等協力を求む)。

<b>魅力発信・観光・商業地賑わいワーキング (商業地賑わい部会)</b>	担当取組項目： 商業施設等 97～105 雇用 111, 112
---	--

【第1回推進会議以降の主な取り組み】

○2部会（魅力発信・観光部会，商業地賑わい部会）に分けて検討を行い，同日開催として両部会の連携を図っている。

- ・賑わいづくりやまちの魅力発信をめざして，地域団体が連携して元気バザール（6/24（日））を開催した。
- ・向島に係る事業者が中心となって運営組織を立ち上げて，マルシェ開催をめざしている。洛西マルシェに引き続き，南港DIYマーケットの視察（7/1（日））を行った。組織のあり方を検討するとともに，元気バザールと連携して向島の魅力発信につながるマルシェの開催をめざしている。
- ・向島まつり開催（10/28（日））に向けて，ステップアップサポート助成制度を利用するとともに，実行委員会で準備を進めている。

主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	(中嶋(中嶋農園), 戸田(中小企業家同友会))
	進捗管理	京都市住宅供給公社, アルパック
	地域住民	増田(1街区), 西田(3街区), 橋爪(3街区), 橋本(藤ノ木赤十字支部長), 宇野(向島東公園愛護協力会), 福井(二の丸北各種団体連絡協議会), 上代(向島学区自治会連合会), 奥田(向島学区), 神門(向島駅前まちづくり協議会), 西谷(向島南学区), 田嶋(向島藤ノ木学区社協他) 他
	事業者	向島ニュータウン商店会, 中嶋農園, 山本牛乳店, 千姫を偲ぶ会, 中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校, 京都市住宅供給公社, 伏見区役所 他
今年度取り組むプログラム・取組	7	まちあるきマップ作成と歴史のまちあるき企画の実施
	8	向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施
	9	農を活かした来訪者の呼び込み
	21	ポータルサイト開設・運営
	22	タウン誌の発行
	23	地域放送局(団地ラジオ)の設立・運営
	97	24号線沿い賑わい施設整備の検討
	98	向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用
平成30年度 主な活動の報告	第1回 WG会議	○経過報告 ○今後の取組検討

**第2回ワーキング 平成30年6月9日(土) 参加者: 20名**

**○経過報告**  
以下の取組について経過報告があった。

**①向島マルシェ(大濱さん)**  
区民活動支援事業の助成を受けて，向島賑わい事業者組織を立ち上げてマルシェを実施する。

**②向島まつり実行委員会(田嶋さん)**  
今年度もステップアップサポート助成金を活用して，実行委員形式で向島まつりを実施する(10/28(日))。今年度は京都銀行前の広場が会場となる。向島まつりとは別に，同助成金を活用して多文化

交流ネットワークづくりをめざす。

### ③第4、5駐車場の賑わい施設の整備（公社、山本さん）

これから事業者選定会議が行われ、6月末から7月に事業者が報告できる予定である。

#### ○今後の取組

- ・元気バザール 6/24（日）午前10時～12時 向島駅前中央公園西詰め広場
- ・南港D I Yマーケットの視察 7/1（日）
- ・向島地域の魅力発信やイメージアップにつながるマルシェの実施について検討を進める。

#### 向島駅前わいわい元気バザール 平成30年6月24日（日）

- ・共催 NPO 向島駅前まちづくり協議会、愛隣館、チャンドラー・セカール・アカデミーインターナショナルスクール、協力 「向島まつり」実行委員会
- ・日時・場所 6/24（日）午前10時～12時 向島駅前中央公園西詰め広場
- ・内容 新鮮野菜市 手作り小物とバザー 天然酵母のパン・ケーキ ヨガ教室



#### 南港D I Yマーケット視察 平成30年7月1日（日）参加者：11名

- ・参加者 咲洲まちづくりプロジェクトチーム代表、住之江区役所、魅力発信・商業地賑わいWGメンバー 合計15名
- ・日時・場所 7/1（日）午後0時～2時 大阪市 南港ポートタウン内の緑地
- ・内容 南港D I Yマーケットの視察と運営者、区役所との意見交換



<b>住環境+防犯</b>		担当取組項目： ・住環境：24～40, 65, 66, 106～110 ・防犯：88～96
<p>【第1回推進会議以降の主な取り組み】</p> <p>○集会所の改修について 今年度、1 街区集会所のトイレを改修する予定である。今後、他の集会所も含め、集会所に求められている設備や機能の改修をどのようにするか、検討していく。</p> <p>○住環境パトロール 5月、6月に実施（7月は天候のため中止）。9月以降に再開し、危険箇所等を確認し整理していく。</p> <p>○近鉄バスの改善 昨年度の状況を受け、今年度は時間をかけて関係する地区住民の合意が得られる形で検討を図る。</p> <p>○向島地域でのクリーンキャンペーンの検討について 「向島地域でのクリーンキャンペーン」について、情報共有を行い、小中学校との連携も視野に入れて、今後検討する。</p>		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	小林 (京都文教大), (防犯: 雪丸 (向島藤ノ木防犯推進協議会))
	進捗管理	京都市都市総務課
	地域住民	増田 (向島二ノ丸学区子ども見守り隊) 日高 (二の丸北学区社協), 福井 (二ノ丸北各種団体連絡協議会), 宇野 (向島東公園愛護協働会), 山内 (向島藤ノ木学区民児協), 山崎 (向島中央公園愛護協働会), 神門 (向島駅前まちづくり協議会), 高木 (笑顔つながろう会), 田嶋 (向島藤ノ木学区社協), 内林, 福間, 森田 (1 街区), 橋詰 (3 街区), 志賀 (5 街区), 松本 (6 街区), 中西 (向島; 伏見地域交通安全活動推進委員協議会, 向島交番協議会, 向島防犯委員), 駒井 (向島二ノ丸; 交通安全推進委員), 山本 (向島南; 世界一安心安全おもてなし担当者会議, 安心安全ネットワーク), 長井 (伏見区平安レディース隊向島藤の木支部) 他
	その他	山本 (市住宅公社), 村重 (区役所地域力推進室) 他
今年度取り組むプログラム・取組	31 34 38 39 65 91 93 96	市営住宅集会所のリニューアル整備 中央公園, 東公園の樹木等の再整備 市営住宅・住宅供給公社共用施設, 設備の改修 住民参加による老朽化した共用施設の再整備 住環境パトロール活動の実施 住民による美化活動の充実 安全・危険情報の地域内周知, 高齢者や障害者が参画する防犯活動 横断歩道の場所改善・拡充
主な活動の報告	第1回 WG 会議	○今年度の WG の進め方について ○街区集会所の改修について ○住環境パトロールの実施報告
	第2回 WG 会議	○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて ○向島地域でのクリーンキャンペーンの検討について ○今後の住環境パトロールについて

**第1回ワーキング 平成30年6月12日（火） 参加者：18名**

○今年度のWGの進め方について

- ・ 今年度の取組一覧の確認が行われた。また近鉄バスの利便性向上について、昨年度の経過報告が行われた。これまでに向島5学区・伏見区地域力推進室と近鉄バス間において6回協議の場を設けて協議をしてきたが実現が難しく、引き続き本WGにて検討することとなった。他にも、近鉄バスの利便性が向上すれば高校生が通学時に利用する可能性もあり、高校生も巻き込むことも意見として挙げられた。

○1街区集会所の改修について

- ・ 多目的トイレを設置するなど、改修を行うことが報告された。現在、(他の街区も含めて、)集会所は高齢者サロンなど、居場所としての機能が求められている(ex.5街区カレー喫茶)。その際に必要なキッチンの改修予算のなど、当初想定されていないが今後必要と思われるものへの対応を検討する必要があることを確認した。

○住環境パトロールの実施報告

- ・ 6月3日に住環境パトロールを実施。7街区・8街区においてベンチの老朽化が見受けられた。

**第2回ワーキング 平成30年7月12日（火） 参加者：12名**

○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて

- ・ 本WGからは、空き校舎の暫定利用について特にニーズはないが、現在の集会所に関して他の場所で対応出来ない、不都合なことがあった場合、利用を検討する。
- ・ 例：集会所で居場所事業を実施しているが、キッチンなど現在必要とされている設備が整っていない。その場合は小中学校のキッチンを利用する等、集会所の不足している機能を補える利用を検討する。また中国帰国者との交流のための料理教室やキッズキッチンの利用も検討できるのではないか。小学校の跡地については引き続き避難訓練で使用希望。
- ・ (交流のため)和太鼓サークル、バンド、ダンス等の練習場所の利用案を挙げられたが、音量の問題が指摘された。
- ・ (子どもたちの遊びの場など)運動場の利用案について挙げられたが、管理上の問題が残る。

○向島地域でのクリーンキャンペーンの検討について

- ・ 昨年度に開催された「防災・防犯」WGにおいて議論された「向島地域でのクリーンキャンペーン」について、情報共有を行い、今後検討することとなった。

○今後の住環境パトロールについて

- ・ 7月7日(土)に住環境パトロールを実施予定であったが大雨のため中止した。次回は9月実施予定。

○次回ワーキング予定

- ・ 8月28日(火)19:00~20:30 於. 京都文教マイタウン向島

<b>子ども・若者支援</b> (子育て世帯等支援含む)	担当取組項目：41～52
---------------------------------	--------------

【第1回推進会議以降の主な取り組み】  
向島地域への子ども・若者支援として、小学生・中学生・ユース世代への学習支援や居場所事業に取り組んでいる。今後、未就学児や子育て層にも対象を拡げていき、幅広い支援を検討していく。

○向島二の丸小・向島中跡地利用検討合同ワーキングについて  
第2回WG後、各WGメンバーがワークシートに跡地利用案について記入し、事務局が取りまとめる。

○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等の実施について  
小中高生を対象に、7月29日(日)に開催される向島ニュータウン商店街の夏まつりにて、アンケート(ヒアリング)を実施する方向で、アンケート案を作成する。

○PTAならびに、小中学校の教員へのWGの情報共有・意見交換について  
学区の各中学校校長等の学校関係者にWGメンバー(地域住民)から本WGの取組等について説明を行い、ワーキングと学校間情報共有を図る。

主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	長谷川(3街区G棟)、山内(向島藤ノ木学区民児協)
	進捗管理	三林(京都文教大学臨床心理学部教授)・杉本(京都文教大学総合社会学部教授)
	地域住民	高木(向島二ノ丸学区民児協)、増田(向島二ノ丸学区子ども見守り隊)日高(二の丸北学区社協)、本田・河野(伏見地区更生保護女性会)、上田(向島中学校PTAOB)、松本・松田(向島藤ノ木学区民児協)、西谷(向島南学区、向島中学校PTAOG)、土橋(MJ学習会運営)他
	事業者	須釜(城南保育園)、丸岡(城南児童館)、大濱(むかいじま健幸プラス)、田中(中部はすの実ひろば)、大下・村井(伏見青少年活動センター)、桐澤・田中・山本(伏見区社協)他
	その他	小林(京都文教大・京都文教マイタウン向島)、美留町(向島駅前まちづくり協議会)、沖野(市住宅公社)、山本(区役所子どもはぐくみ室)、長澤(龍谷大)他
今年度取り組むプログラム・取組	42	中学生の勉強場所の確保
	43	「アフター5スクール」づくりの推進
	46	市営住宅各街区集会所等既存施設の活用・改修による必要なサポート実施
	50	夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援
	52	子どもを育てる親世代への支援の拡充
主な活動の報告	第2回WG会議	○これまでの取組について ○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて ○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等の実施について ○PTAならびに、小中学校の教員へのWGの情報共有・意見交換について

**第2回ワーキング 平成30年5月6日(日) 参加者：21名**

○これまでの取組について

- 小学生や中学生、ユース世代の3区分に分けて、学習支援や居場所づくり事業に取り組んでいる。現状の課題として、安定的な活動場所の確保が挙げられる。
- また未就学児や子育て層への支援についても今後検討していく。

- ・ スポーツや音楽等の運動・文化活動の支援等についても検討する。

#### ○向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて

- ・ 跡地を利用した子ども農園，グラウンドの活用等が挙げられた。今後，7月末までにワークシートに利用案をまとめ，事務局へ提出する。
- ・ 多世代が出入りでき，常時大人がいて 21 時までユース世代が活動できる場所があるのが望ましい。
- ・ 現在，中部産婦人科の「はすの実広場」が，乳幼児を対象とした「出張広場」を伏見区総合庁舎や向島自治会館などでおこなっているが，そうした活動の場としての小中学校跡地利用も期待される。

#### ○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等の実施について

- ・ 当事者の声を拾い上げるため，SNS の活用や当事者参加型のまちづくり（跡地利用）のアイデアコンペ，ワークショップの開催等のアイデアが挙げられた。
- ・ 7月29日に向島ニュータウン商店街にて開催される夏まつりには，小学生や中高生が多数参加されることが見込まれるため，夏まつりにてアンケートを実施する方向でアンケート案を作成することになった。
- ・ 8月1日に向島中学校にて実施されるまちづくり塾においても，中学生へアンケートあるいはヒアリングの実施を検討する。

#### ○PTA ならびに，小中学校の教員への WG の情報共有・意見交換について

- ・ 各校長等に本 WG の情報共有を図り，連携体制を強化していく。そのため，WG メンバー（地域住民）が学校に赴き，本 WG の取組等について説明を行って連携を深めていくこととなった。

#### ○次回 WG 予定

8月4日(土)10:00~12:00 於. 向島学生センターセミナーハウス 2階研修室

<b>暮らし安心ワーキング</b> <b>(高齢者・障害者・多文化多世代交流)</b>		担当取組項目：14～17, 53～58
<b>【第1回推進会議以降の主な取り組み】</b> 昨年度の取組に引き続き、他都市事例の調査や講演会、ワークショップなどにも取り組んでいく。 ○公営住宅を活用した福祉施設併設例の視察と講演会（8月中旬～9月上旬） 視察先：「なごみりあ榎島」, 「なかまの家 おうばくホーム」 講演：「公営住宅におけるグループホーム等の使用に関する研究」札幌市立大学 山田信博准教授 ○障害のある当事者と住民が共同して進める災害準備のためのワークショップ（9月9日） 向島二ノ丸学区住民、障害のある当事者、関係機関による40～50名を想定したワークショップ ○向島二の丸小・向島中跡地における暮らし安心ワーキングで想定される地元利用活用案の検討 中国帰国者の交流拠点、にじいるプロジェクトの活動、愛隣館の建替時の活用など		
<b>主な構成メンバー</b> <b>(敬称略)</b>	<b>リーダー</b>	黒多 (にじいるプロジェクト)
	<b>進捗管理</b>	齋藤 (京都市都市総務課企画調整係長)
	<b>地域住民</b>	佐々木 (向島二ノ丸学区民児協), 増田 (向島二ノ丸学区社協), 日高 (二の丸北学区社協), 田嶋 (向島藤ノ木学区社協), 山内 (向島藤ノ木学区民児協), 宇野 (向島東公園愛護協力会), 小山 (向島公団住宅自治会), 福井 (二の丸北各種団体連絡協議会), 小島 (1街区), 藤井 (3街区), 矢吹 (5街区), 松本 (6街区), 片桐 (7街区), 木村 (11街区) 他
	<b>事業者</b>	平田, 佐藤 (愛隣館), 岩城, 福井 (むかいじま病院), 谷口 (あじさいガーデン伏見), 西川 (地域包括支援センター), 高田, 高村 (メディケア・リハビリ訪問看護ステーション), 清水 (リハビリテーション支援センター), 森田 (NPO 法人おはな), 沖野 (市住宅公社) 他
	<b>その他</b>	吉村, 馬場, 杉本, 川崎 (京都文教大), 美留町 (向島駅前まちづくり協議会), 中嶋, 荒木 (伏見区役所) 他
<b>今年度取り組むプログラム・取組</b>	14 15 16 18 19 53 56 58	既存施設の活動拠点としての活用 市営住宅集会所・空き住戸の改修と活用 多文化・多世代交流の機会づくり 街区・学区を越えて誰もが集える多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の整備の検討 多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の運営主体となる住民組織, NPO等設立の検討 街区集会所等による生活サポート拠点づくり 健康づくりや文化活動等の事業連携, 情報の共有 総合的な生活支援サービス事業の実施
<b>主な活動の報告</b>	<b>第2回 WG 会議</b>	○参加者の紹介 ○前回WGの内容の確認・振り返り ○公営住宅を活用した福祉施設併設例の視察について ○障害のある当事者と住民が共同して進める災害準備のためのワークショップ (案) について



		<p>○向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国帰国者WGの設置に向けた検討（夕陽紅の会へのヒアリング報告）</li> <li>・今後の進め方について</li> </ul>
<b>第2回ワーキング 平成30年6月16日（土） 参加者：25名</b>		
<p>○公営住宅を活用した福祉施設併設例の視察について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なごみりあ榎島」（府営榎島大川原団地）と「なかまの家 おうばくホーム」（黄檗市営住宅）への視察について、8月のお盆すぎから9月上旬にかけて日程調整を行う。</li> <li>・札幌市立大学デザイン学部の山田信博准教授が「公営住宅におけるグループホーム等の使用に関する研究」を行っておられるため、現地視察の後に大阪などの活用例についても調査研究に係る講演や視察の報告会を行うことも検討する。</li> </ul> <p>○障害のある当事者と住民が共同して進める災害準備のためのワークショップ（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月9日（日）、向島ニュータウン近辺に会場を確保して向島二ノ丸学区住民、障害のある当事者、関係機関を対象に40名から50名規模を想定したワークショップを企画する。</li> <li>・主催は、にじいろプロジェクト、向島二ノ丸学区自主防災会、向島まちづくりビジョン取組ワーキンググループ（暮らし安心WG及び防災WG）、京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」、京都文教大学ニュータウン研究会を想定している。</li> <li>・午前に防災食の試食。午後は講師の活動報告を行い、現地で具体的にどう進めるかのワークショップのプチデモを行い、その後に関係者が交流するという三部形式を想定している。</li> <li>・ワークショップでは向島ニュータウンに居住するタイプの異なる障害当事者と自治会や住民、関係機関がワークショップ形式で個別避難計画を作成する。</li> <li>・交流会では関係者と住民が交流すると共に、今後に向けての話し合いを実施する。</li> </ul> <p>○向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同ワーキングの報告を行い、当ワーキングで活用が想定される取組の意見交換を行った。</li> <li>・中国帰国者の交流拠点、にじいろプロジェクトの活動、愛隣館の建替時の活用などの意見が出た。</li> </ul> <p>○その他</p> <p>①中国帰国者WGの設置に向けた検討（夕陽紅の会へのヒアリング報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にじいろプロジェクトで中国帰国者の方との交流に向けて、映画の上映やシンポジウムを検討している。</li> <li>・言葉の問題もあり、やさしい日本語で共益費のことや防災訓練のことを伝えることや中国と日本の文化の違いを理解することも必要ではないかという意見が出た。</li> </ul> <p>②今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当ワーキングで取り扱う課題は大きく分けて4つあり、プロジェクトチームの形で活動出来ないか、といった課題の提起があった。</li> </ul> <p>○次回WG</p> <p>9月22日(土)10:00～12:00 於. 京都文教大学14号館14101教室</p>		

## 中国帰国者・多文化共生ワーキング

担当取組項目：17, 59～64, 67, 95

### 【第1回推進会議以降の主な取り組み】

- ビジョンにおいて、中国帰国者の生活課題解決や日中交流について、地域ぐるみで取り組むことがうたわれている。
- ・当事者組織である夕陽紅の会の状況を把握するために、2回のヒアリングを行った。
- ・夕陽紅の会を通じて生活課題やニーズを確認した。中国帰国者の日中交流の機会づくり、暮らし安心WGを母体とした中国帰国者WG（準備会）について、方向性を確認した。

主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	
	進捗管理	都市総務課, アルパック
	地域住民	夕陽紅の会, 学区社会福祉協議会 他
	事業者	こうふく介護サービス, 京都市向島地域包括支援センター, むかいじま病院 京都市社会福祉協議会 他
	その他	京都市文教大, 京都市総合企画局国際化推進室 他
今年度取り組むプログラム・取組	17 59 60	留学生・中国帰国者等と子どもたちの文化交流促進 中国帰国者等の生活課題, ニーズや自助グループの活動におけるニーズを把握し, 支援策等を検討 中国帰国者等とのネットワークづくり
平成30年度 主な活動の報告	事務局会議 5/16 (水)	○今後の取組検討 ・WG設置に向けた人選 ・今年度の目標と取組

### 夕陽紅の会ヒアリング 平成30年5月21日(月) 6月16日(土)

#### ○ヒアリングの実施 5/21(月)

- ・MJを会場として毎週月曜日に開催しているマージャンの会に訪問して、ヒアリングを行った。
- ・日中交流活動場所の確保に係る要望や合同WGへの参加について確認・依頼した。
- ・向島まつりなどを通じた日中交流事業への参加について確認した。

#### ○ヒアリングの実施 6/16(土)

- ・5街区集会所を会場として第1, 3土曜日午後開催している介護予防教室に訪問して、ヒアリングを行った。
- ・夕陽紅の会代表者に今後の取組への参加・協力を確認した。



#### ○今後の取組

日中交流の機会づくり

- ・にじいろプロジェクトのシネマとトークの取組 (9月)
- ・夕陽紅の会の活動や日中交流スペースを確保するために合同WGへの要望・参加
- ・向島まつりへの参加 (10/28)
- ・避難訓練への参加 (10月, 11月)

中国帰国者WG (準備会)

地域ぐるみで中国帰国者との交流や生活課題を考えるWG立ち上げ (10月以降)

<b>防災ワーキング</b>	担当取組項目：68～87
----------------	--------------

【第1回推進会議以降の主な取り組み】

○平成29年度に検討を進めてきた「市営住宅空き住戸の緊急避難所（水害時垂直避難）」としての活用に向け、5街区市営住宅の1住戸をモデルとした運営体制・方法、訓練・検証内容について検討を進めている。（進めるにあたり、ステップアップサポート事業の助成金を申請）

- ・5街区市営住宅空き住戸の緊急避難所としての運営・管理体制案を作成。
- ・上記案をもとに、5街区市営住宅空き住戸の緊急避難所としての利用訓練・検証を実施予定。
- ・利用訓練・検証に向けても、個々人の避難行動計画づくり、避難支援体制づくりを進めるため、地域包括支援センター、向島二ノ丸学区自主防災会等と連携して、ニーズ整理を行なう予定。
- ・向島二ノ丸学区での取組（障がいのある方の避難支援の活動や我が家の避難計画シートづくり等）をふまえた避難行動シート、避難支援体制づくり（暮らし安心WGとの連携）を進めている。

主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	珍田（向島藤ノ木学区自主防災会）、書記：佐藤（愛隣館）
	進捗管理	伏見区役所総務防災担当、京都市都市総務課
	地域住民	珍田（向島藤ノ木学区自主防）、岡崎（二の丸北学区自主防）児玉（二の丸北学区自主防）、増田（向島二ノ丸学区自主防）、矢吹（日本自立生活センター（向島二ノ丸学区））、上代（向島学区自主防災会）、野崎（向島南学区自主防災会）、奥田（向島南学区）、福井（二の丸北学区各種団体連絡協議会）、橋本（10街区自治会） 他
	事業者	佐藤（愛隣館）、西川（地域包括支援センター）、桐澤（伏見区社協） 他
	その他	杉本（京都文教大）、谷本（伏見区役所総務防災担当）、伏見消防署向島出張所 他
今年度取り組むプログラム・取組  網掛けは昨年度からの継続で必ず取り組むもの	68 69 70 72 73 75 76 77 78・79 81	災害想定のお知らせ 防災準備状況の定期チェックとノウハウ共有 配慮必要な住民の情報共有とニーズ調査 周知媒体、マニュアル等の情報バリアフリー化 多様な（二重三重の）情報発信 災害時要配慮者の避難誘導、支援の関係、体制づくり（関連：74 避難行動シートづくり） 防災訓練の見直し、充実（訓練への多様な人の参加） 地域防災組織の充実 空き家の避難所活用とマニュアル・ルールづくり ニュータウン全体の公園への防災設備設置
主な活動の報告	第2回 WG会議	○5街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用管理・運営方法の検討 ○同上 利用検証方法の検討 ○ステップアップサポート事業への助成申請内容の確認
	第3回 WG会議	○5街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用管理・運営方法の検討 ○同上 利用検証・訓練の検討 ○向島二の丸小・向島中跡地地元利用について：防災の視点から

**第2回ワーキング 平成30年5月26日(土) 参加者：18名**

**○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用管理・運営方法の検討**

- ・京都市住宅室より連絡があった、避難所として利用可能な部屋の棟・号室を確認した。
- ・最新のハザードマップ情報から、避難すべき対象は1階を最優先とすることを確認した。
- ・鍵の管理方法について自治会長や自主防災会長等での複数管理を検討し、向島二ノ丸学区自主防災会の会議で協議していただくことにした。
- ・利用する部屋の提起管理方法として、向島二ノ丸学区自主防災会の会議前に定期的に点検することなど検討し、同自主防災会会議で協議していただくことにした。
- ・その他、ライフラインの用意、備蓄品の必要性について検討し、今後、検証訓練内容を検討することにした。

**○同上 利用検証方法の検討**

- ・利用検証にあたっての視点について意見を出し合った。(必要な備蓄品、避難する日数、必要とする住民を把握するために、個々人の避難計画を検討する必要性等)

**○ステップアップサポート事業への助成申請内容の確認**

- ・検証訓練の実施、空き住戸の管理運営マニュアル作成のための費用として、助成金を申請することを確認した。

以上

**第3回ワーキング 平成30年6月30日(土) 参加者：15名**

**○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用管理・運営方法の検討**

- ・向島二ノ丸学区自主防災会による協議結果を共有した(空き住戸の鍵はキーボックス管理等)
- ・上記を踏まえて、ワーキングで課題を検討した(キーボックス購入費用、キーボックス暗証番号の管理)。検証訓練を実施した結果を踏まえて、鍵管理方法の結論を出すこととした。

**○同上 利用検証・訓練の検討**

- ・地域包括支援センターと向島二ノ丸学区自主防災会がニーズ整理を行ってから検討する(7月中)ことにした。
- ・空き住戸への避難者の優先順位について検討した。

**○向島二の丸小・向島中跡地地元利用について：防災の視点から**

- ・跡地施設の地元利用方法について防災の視点から検討した。
- ・新設校でこれまでの利用範囲はカバーできることを確認した上で、二の丸北学区は避難先等は新設校とすることを確認し、跡地施設は向島二ノ丸学区を中心に、体育館など広い場所を防災訓練での利用、備蓄品、避難所利用、教室福祉スペースとしての利用していきたいことを確認した。

**○その他**

- ・WG参加住民から、階段避難時に便利な手作り担架を紹介していただき、必要な人に家に設置できないか提案があった。

**○次回ワーキング会議**

7月28日(土) 午前10時～ 場所：向島学生センターセミナーハウス

以上